

気になるニュース わたしの視点

日本銀行、東濃信用金庫を通じて、日本経済のマクロ・ミクロの動きを金融機関の窓口から見てきたので、本欄では岐阜新聞に掲載される金融経済に関するニュースを中心に意見を述べていきたい。ただ初回の今回は、10月8日付10面「『飲まぬ』逆にクール」の見出しの記事が、私の趣味との関係で興味深かったので自己紹介がてら取り上げた。ソバークュリアスとは、「ソバー(しらふの)」と「キュリアス(好奇心のある)」を組み合わせた造語で、飲まないことを積極的に行うライフスタイルを意味し最近注目されている。私は、おいしい食事を、料理に合わせたおいしいお酒(ビール、日本酒、ワイン何でもあれ)と一緒にたしなむことを無上の幸せとしてきた。



東濃信用金庫会長 市原好二氏

「飲まぬ」逆にクール

いちはら・こうじ 1954年、多治見市生まれ。名古屋大学卒業。日本銀行函館支店長、同京都支店長を経て、2009年6月、東濃信用金庫理事長に就任。21年6月から同金庫会長。趣味は温泉、美食探訪。多治見市在住。

舞われ、胸内にICD(植え込み型除細動器)を入れ、カテーテル治療も2回行った。主治医に日常生活での注意事項を確認したところ、激しい運動と深酒は控えた方がよい

どのアドバイス。心臓に負担がかからない程度の適量のお酒であればとも思ったが、健康を最優先して積極的に「飲まない選択肢」を採った。ただ根っからの酒好きなのか、ごちそうに合わせてウーロン茶や甘いソフトドリンクでは、何とも物足りない。そこでノンアルコールの調査・研究に注力。皆さんご存じのようにビール市場ではノンアルコールがかなりおいしくな

ニッポン更新中

「飲まぬ」逆にクール

ノンアルコール普及、積極的な選択肢に

「飲まぬ」逆にクール。ノンアルコールの普及が著しく、積極的な選択肢となっている。特に、健康志向の高まりや、飲酒しない層の拡大が要因と見られる。本記事では、ノンアルコールの現状と今後の展望について詳しく解説する。

2022年10月8日付10面より

ソバークュリアスを楽しむ

ってきたし、製法に工夫を凝らした微アルコールも増加。そしてワインやカクテルでも香り、味ともにアルコール飲料に負けないノンアルコール商品が開発されている(残念ながら、まだおいしいノンアルコール日本酒には出会っていないが)。

そして何よりノンアルコールの良さは、二日酔いにならず体が楽なこと。また私自身は、ノンアルコールでも宴席を十分楽しめることを再認識した。酒党派の人からは、酔わないお酒なんて意味がないと言われそうだが、ソバークュリアスの割合が高い若い人や女性とは、かえってノンアルコール談義で盛り上がりやすい。 (引用記事は29日付電子版最終面に掲載)



電子版利用のため
の登録はこちら